

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 9 月 1 0 日
Date of Application:

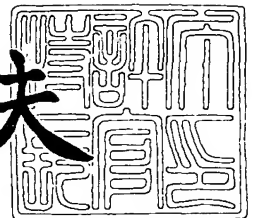
出 願 番 号 実 願 2 0 0 2 - 0 0 5 7 3 7
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 0 0 5 7 3 7 U]

出 願 人 船 井 電 機 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

2 0 0 3 年 8 月 1 1 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出 証 番 号 出 証 実 2 0 0 3 - 3 0 0 0 0 9 5

【書類名】 実用新案登録願

【整理番号】 RU1667

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/445

【考案の名称】 テレビ受像機

【請求項の数】 7

【考案者】

・

・

【住所又は居所】 大阪府大東市中垣内 7 丁目 7 番 1 号
船井電機株式会社内

【氏名】 鈴 弥万

【実用新案登録出願人】

【識別番号】 000201113

【氏名又は名称】 船井電機株式会社

【代表者】 船井 哲良

【納付年分】 第 1 年分から第 3 年分

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008442

【納付金額】 51,500円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

・

【物件名】 図面 1

・

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【考案の名称】 テレビ受像機

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 テレビ放送信号を受信し、選択されているチャンネルの信号を抽出する受信手段と、

上記受信手段が抽出した選択されているチャンネルの信号に基づいて、このチャンネルで放送されている番組の映像、またはこの番組の映像に O S D 画像を重ねた合成画像の一方を表示手段に選択的に表示させる表示制御手段と、

視聴開始時刻と、チャンネルとを対応付けた視聴予約情報を記憶する視聴予約手段と、

上記視聴予約手段に記憶されている視聴開始時刻になると、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルを選択し、上記受信手段を動作させる視聴予約実行手段と、を備えたテレビ受像機において、

上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が上記受信手段において、すでに実行されていた場合、上記表示制御手段が上記表示手段に上記 O S D 画像を表示させているかどうかを判断し、O S D 画像を表示させていれば、上記表示制御手段に対して上記表示手段における表示を選択されているチャンネルのテレビ放送信号に基づく番組の映像に切り換えるように指示する切換指示機能を有するとともに、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネル以外のチャンネルの受信が上記受信手段において実行されていた場合、上記表示制御手段に対して受信中のチャンネルで放送されている番組の映像に視聴開始時刻になった旨のメッセージを重ねた合成画像の表示を指示し、

上記 O S D 画像は、受信したテレビ放送信号に含まれている電子番組ガイド情報に基づく映像を含み、

上記視聴予約実行手段の切換指示機能を有効にするか、無効にするかを設定する設定手段を備えたテレビ受像機。

【請求項 2】 テレビ放送信号を受信し、現在選択されているチャンネルのテレビ放送信号を抽出する受信手段と、

上記受信手段が抽出した選択されているチャンネルの信号に基づいて、このチャンネルで放送されている番組の映像、またはこの番組の映像にOSD画像を重ねた合成画像の一方を表示手段に選択的に表示させる表示制御手段と、

視聴開始時刻と、チャンネルとを対応付けた視聴予約情報を記憶する視聴予約手段と、

上記視聴予約手段に記憶されている視聴開始時刻になると、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルを選択し、上記受信手段を動作させる視聴予約実行手段と、を備えたテレビ受像機において、

上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が上記受信手段において、すでに実行されていた場合、上記表示制御手段が上記表示手段に上記OSD画像を表示させているかどうかを判断し、OSD画像を表示させていれば、上記表示制御手段に対してOSD画像の表示サイズを所定のサイズに縮小するように指示する切換指示機能を有するとともに、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネル以外のチャンネルの受信が上記受信手段において実行されていた場合、上記表示制御手段に対して受信中のチャンネルで放送されている番組の映像に視聴開始時刻になった旨のメッセージを重ねた合成画像の表示を指示し、

上記OSD画像は、受信したテレビ放送信号に含まれている電子番組ガイド情報に基づく映像を含み、

上記視聴予約実行手段の切換指示機能を有効にするか、無効にするかを設定する設定手段を備えたテレビ受像機。

【請求項3】 テレビ放送信号を受信し、選択されているチャンネルの信号を抽出する受信手段と、

上記受信手段が抽出した選択されているチャンネルの信号に基づいて、このチャンネルで放送されている番組の映像、またはこの番組の映像にOSD画像を重ねた合成画像の一方を表示手段に選択的に表示させる表示制御手段と、

視聴開始時刻と、チャンネルとを対応付けた視聴予約情報を記憶する視聴予約手段と、

上記視聴予約手段に記憶されている視聴開始時刻になると、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルを選択し、上記受信手段を動作させる視聴予約実行手段と、を備えたテレビ受像機において、

上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が上記受信手段において、すでに実行されていた場合、上記表示制御手段が上記表示手段に上記 O S D 画像を表示させているかどうかを判断し、O S D 画像を表示させていれば、上記表示制御手段に対して上記表示手段における表示を選択されているチャンネルのテレビ放送信号に基づく番組の映像に切り換えるように指示する切換指示機能を有するテレビ受像機。

【請求項 4】 テレビ放送信号を受信し、現在選択されているチャンネルのテレビ放送信号を抽出する受信手段と、

上記受信手段が抽出した選択されているチャンネルの信号に基づいて、このチャンネルで放送されている番組の映像、またはこの番組の映像に O S D 画像を重ねた合成画像の一方を表示手段に選択的に表示させる表示制御手段と、

視聴開始時刻と、チャンネルとを対応付けた視聴予約情報を記憶する視聴予約手段と、

上記視聴予約手段に記憶されている視聴開始時刻になると、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルを選択し、上記受信手段を動作させる視聴予約実行手段と、を備えたテレビ受像機において、

上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が上記受信手段において、すでに実行されていた場合、上記表示制御手段が上記表示手段に上記 O S D 画像を表示させているかどうかを判断し、O S D 画像を表示させていれば、上記表示制御手段に対して O S D 画像の表示サイズを所定のサイズに縮小するように指示する切換指示機能を有するテレビ受像機。

【請求項 5】 上記視聴予約実行手段の切換指示機能を有効にするか、無効にするかを設定する設定手段を備えた請求項 3 または 4 に記載のテレビ受像機。

【請求項 6】 上記 O S D 画像は、受信したテレビ放送信号に含まれている電

子番組ガイド情報に基づく映像を含む請求項 3 ～ 5 のいずれかに記載のテレビ受像機。

【請求項 7】 上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネル以外のチャンネルの受信が上記受信手段において実行されていた場合、上記表示制御手段に対して受信中のチャンネルで放送されている番組の映像に視聴開始時刻になった旨のメッセージを重ねた合成画像の表示を指示する請求項 3 ～ 6 のいずれかに記載のテレビ受像機。

【考案の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【考案の属する技術分野】

この考案は、選択されているチャンネルで放送されている番組の映像を表示出力するテレビ受像機に関し、特に視聴予約機能および O S D 画像の表示機能を有するテレビ受像機に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、視聴開始時刻と、視聴するチャンネルとを対応付けた視聴予約情報を登録する視聴予約を行うことにより、視聴開始時刻になると自動的に本体の電源が入り、予約されているチャンネルで放送されている番組の映像の表示、音声の出力を開始するテレビがあった（例えば、特許文献 1 参照。）。この機能は、一般に視聴予約機能と言われている。この視聴予約機能は、ユーザが所望の番組を見逃すのを防止するために提案された機能である。

【 0 0 0 3 】

また、デジタルテレビ放送では、放送予定の番組について放送開始時間等を示した番組表のデータ、所謂電子番組ガイド（E P G）、をデジタル放送信号に多重化しされている。このデジタル放送信号から電子番組ガイドを抽出し、O S D 画像として電子番組ガイドを表示部に表示するデジタルテレビも実用化されはじめている（例えば、特許文献 2 参照。）。この特許文献 2 には、電子番組ガイドを表示しているときに、選択されているチャンネルにおいて放送されて

いる番組が切り換わると、電子番組ガイドの表示を中止し、放送されている番組の映像を表示部に表示する構成も記載されている。

【0004】

【特許文献1】

特開昭60-251782号公報

【特許文献2】

特開2000-350112号公報

【0005】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、上記視聴予約機能は、ユーザが所望の番組を見逃すことを防止するための機能であったことから、従来のテレビ受像機では視聴開始時刻になったときに、すでに視聴予約されているチャンネルで放送されている番組の受信が行われていると、本体の動作状態を保持するだけであった。このため、ユーザが視聴予約したチャンネルを選択しているが、表示部において上記電子番組ガイド、設定メニュー画面等のOSD画像を表示させていると、このOSD画像の表示状態が保持される。したがって、ユーザが視聴予約を行っていた番組の放送が開始されたこと（視聴開始時刻になったこと）に気づかず、視聴予約を行っていた所望の番組を見逃すという問題があった。

【0006】

なお、上記特許文献1には、視聴開始時刻になると、外部入力端子からの入力が無効にし、視聴予約されているチャンネルの番組の映像を表示する構成が示されているだけであり、電子番組ガイド、設定メニュー画面等のOSD画像が表示されているときに視聴予約開始時間になった場合の制御については何ら示されていない。

【0007】

また、上記特許文献2は、放送されている番組が切り換わる毎に電子番組ガイド等のOSD画像の表示を中止する構成であったため、ユーザが電子番組ガイド、設定メニュー画面等のOSD画像を表示させて、何らかの確認や設定操作を行っているときに、選択しているチャンネルで番組が切り換わると、ユーザが視聴し

たい番組であるかどうかにかかわらず O S D 画像の表示が中止されるので、ユーザにとって O S D 画像の表示が必要なタイミングであっても、この O S D 画像の表示が中止されるという問題があった。また、ユーザは再度電子番組ガイド、設定メニュー画面等の O S D 画像を表示させるための操作を行わなければならない、ユーザの操作性を低下させるという問題があった。

【 0 0 0 8 】

この考案の目的は、ユーザの操作性を低下させることなく、ユーザが視聴予約を行った番組を見逃すことがないテレビ受像機を提供することにある。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

この考案のテレビ受像機は、上記課題を解決するために、以下の構成を備えている。

【 0 0 1 0 】

(1) テレビ放送信号を受信し、選択されているチャンネルの信号を抽出する受信手段と、

上記受信手段が抽出した選択されているチャンネルの信号に基づいて、このチャンネルで放送されている番組の映像、またはこの番組の映像に O S D 画像を重ねた合成画像の一方を表示手段に選択的に表示させる表示制御手段と、

視聴開始時刻と、チャンネルとを対応付けた視聴予約情報を記憶する視聴予約手段と、

上記視聴予約手段に記憶されている視聴開始時刻になると、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルを選択し、上記受信手段を動作させる視聴予約実行手段と、を備えたテレビ受像機において、

上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が上記受信手段において、すでに実行されていた場合、上記表示制御手段が上記表示手段に上記 O S D 画像を表示させているかどうかを判断し、O S D 画像を表示させていれば、上記表示制御手段に対して上記表示手段における表示を選択されているチャンネルのテレビ放送信号に基づく番組の映像に切り換えるように指示する切換指示機能を有する。

【 0 0 1 1 】

この構成では、視聴予約実行手段の切換指示機能が、視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が受信手段において、すでに実行されていた場合、表示制御手段が表示手段に O S D 画像を表示させているかどうかを判断する。ここで、O S D 画像を表示させていると判断すると、上記表示制御手段に対して上記表示手段における表示を選択されているチャンネルのテレビ放送信号に基づく番組の映像に切り換えるように指示する。このため、視聴予約を行っていた視聴開始時刻に、電子番組ガイド、設定メニュー画面等の O S D 画像を表示させていた場合であっても、この O S D 画像の表示が中止され、視聴予約されていた番組の映像が表示手段に表示される。したがって、ユーザが視聴予約していた番組を見逃すのを防止できる。また、ユーザが視聴予約を行った視聴開始時刻以外のタイミングで O S D 画像の表示が中止されることがない。言い換えれば、ユーザにとって必要でないタイミングで O S D 画像の表示が中止されることがなく、ユーザの操作性を低下させることもない。

【 0 0 1 2 】

(2) テレビ放送信号を受信し、現在選択されているチャンネルのテレビ放送信号を抽出する受信手段と、

上記受信手段が抽出した選択されているチャンネルの信号に基づいて、このチャンネルで放送されている番組の映像、またはこの番組の映像に O S D 画像を重ねた合成画像の一方を表示手段に選択的に表示させる表示制御手段と、

視聴開始時刻と、チャンネルとを対応付けた視聴予約情報を記憶する視聴予約手段と、

上記視聴予約手段に記憶されている視聴開始時刻になると、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルを選択し、上記受信手段を動作させる視聴予約実行手段と、を備えたテレビ受像機において、

上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が上記受信手段において、すでに実行されていた場合、上記表示制御手段が上記表示手段に上記 O S D 画像を表示させているかどうかを判断し、O S D 画像を表示させていれば、上記表示制御手段に

対して OSD 画像の表示サイズを所定のサイズに縮小するように指示する切換指示機能を有する。

【0013】

この構成では、上記（１）と同様に視聴予約実行手段の切換指示機能が、視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルの受信が受信手段において、すでに実行されていた場合、表示制御手段が表示手段に OSD 画像を表示させているかどうかを判断する。ここで、OSD 画像を表示させていると判断すると、上記（１）のように OSD 画像の表示を中止するのではなく、上記表示制御手段に対して OSD 画像の表示サイズを所定のサイズに縮小するように指示する。この場合も、上記（１）と同様の効果を奏する。

【0014】

（３）上記視聴予約実行手段の切換指示機能を有効にするか、無効にするかを設定する設定手段を備えている。

【0015】

この構成では、ユーザが自分の使い勝手にあわせて、切換指示機能を有効にするか、無効にするかを設定することができる。

【0016】

また、この考案で言う OSD 画像は、本体における各種動作の設定メニューの画像だけでなく、テレビ放送信号に多重化されている電子番組ガイドに基づく画像も含んでいる。

【0017】

（４）上記視聴予約実行手段は、上記視聴開始時刻になったときに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネル以外のチャンネルの受信が上記受信手段において実行されていた場合、上記表示制御手段に対して受信中のチャンネルで放送されている番組の映像に視聴開始時刻になった旨のメッセージを重ねた合成画像の表示を指示する。

【0018】

この構成では、ユーザが他のチャンネルで放送されている番組を視聴しているときに、視聴開始時刻になった場合において、ユーザに視聴開始時刻になったこ

とを認識させることができる。また、本体が勝手に視聴予約されていたチャンネルへの切換を行わないので、ユーザの意に反してチャンネルが切り換えられることもない。

【 0 0 1 9 】

【考案の実施の形態】

以下、この考案の実施形態であるテレビ受像機について説明する。

【 0 0 2 0 】

図 1 は、この考案の実施形態であるテレビ受像機の構成を示すブロック図である。この実施形態のテレビ受像機 1 は、デジタルテレビ放送対応の装置である。この実施形態のテレビ受像機 1 は、制御部 2、受信部 3、デコーダ 4、OSD 画像生成部 5、OSD 画像メモリ 6、D/A 変換部 7、表示部 8、音声出力部 9、および操作部 10 を備えている。制御部 2 は、テレビ受像機 1 本体の動作を制御する。受信部 3 は、アンテナ 11 で受信したテレビ放送信号（以下、放送信号と言う。）から選択されているチャンネルの放送信号を抽出する、所謂チューナである。受信部 3 で受信されるテレビ放送信号は、MPEG 2 で圧縮された信号である。また、この信号には放送予定の番組について放送開始時間等を示した番組表のデータ、所謂電子番組ガイド（EPG）、が多重化されている。

【 0 0 2 1 】

デコーダ 4 は、受信部 3 で抽出された選択されているチャンネルの放送信号から映像信号、音声信号、電子番組ガイド（EPG）の信号を分離し、それぞれの信号をデコードする。OSD 画像生成部 5 は、OSD 画像メモリ 6 に記憶されている OSD 画像、上記電子番組ガイド、または番組の映像のいずれかを選択的に出力する。D/A 変換部 7 は、OSD 画像生成部 5 から出力された映像信号をアナログの映像信号に変換する D/A 変換回路と、デコード 4 から出力された音声信号をアナログの音声信号に変換する D/A 変換回路を有している。

【 0 0 2 2 】

表示部 8 は、D/A 変換部 7 から出力されたアナログ映像信号（OSD 画像、上記電子番組ガイド、または番組の映像のいずれか）に基づく映像を表示する。音声出力部 9 は、所謂スピーカであり、D/A 変換部 7 から出力されたアナログ

音声信号に基づく音声を出力する。操作部 1 0 は、受信部 3 で抽出するチャンネルの選択操作等を受け付ける。また、図示していないリモコン装置からの制御コマンドを受信する受信部を有している。

【 0 0 2 3 】

なお、この実施形態では、選択されているチャンネルで放送されている番組の映像でない画像を OSD 画像と定義しており、OSD 画像メモリ 6 に記憶されている OSD 画像だけでなく、上記電子番組ガイドによる画像も OSD 画像に含まれる。OSD 画像メモリ 6 には、テレビ受像機 1 本体に対する各種設定データの設定メニュー画面等が OSD 画像として記憶されている。

【 0 0 2 4 】

また、制御部 2 には現在時刻を計時するタイマ、および視聴予約情報を記憶するメモリが設けられている。視聴予約情報は、視聴を開始する視聴開始時刻、および視聴するチャンネルを対応付けた情報である。この視聴予約情報の登録は、操作部 1 0 または図示していないリモコン装置で行える。

【 0 0 2 5 】

次に、この発明の実施形態であるテレビ受像機 1 の動作について説明する。図 2 はテレビ受像機の動作示すフローチャートである。

【 0 0 2 6 】

テレビ受像機 1 は、制御部 2 に記憶している視聴予約情報の視聴開始時刻になるか、操作部 1 0 において何らかの入力操作（リモコン装置から送信されてきた制御コマンドの受信を含む）が行われるのを監視している（s 1、s 2）。テレビ受像機 1 は、操作部 1 0 において何らかの入力操作が行われると、該入力操作に応じた処理を実行し（s 3）、s 1 に戻る。

【 0 0 2 7 】

また、テレビ受像機 1 は、タイマで計時している現在時刻が視聴開始時刻になると、テレビ受像機 1 本体の主電源がオン状態であるか、オフ状態であるかを判断する（s 4）。

【 0 0 2 8 】

なお、主電源がオン状態であるか、オフ状態であるかにかかわらず、制御部 2

には動作電源が供給されている。

【 0 0 2 9 】

テレビ受像機 1 は、主電源がオフ状態であると判断すると、主電源をオンするとともに、この視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルに受信チャンネルを切り換える（s、5、s 6）。これにより、テレビ受像機 1 において、登録されていた視聴予約情報に基づく放送信号の受信が開始され、表示部 8 において視聴予約されていた番組の映像が表示されるとともに、音声出力部 9 からこの番組の音声出力される。

【 0 0 3 0 】

一方、テレビ受像機 1 は s 4 で主電源がオン状態であると判断すると、現在選択されているチャンネルが、今回の視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルであるかどうかを判断する（s 7）。ここで、現在選択されているチャンネルが今回の視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルでないと判断すると、O S D 画像生成部 5 において現在選択されているチャンネルで放送されている番組の映像に、視聴開始時刻となった旨のメッセージを重ね合わせた合成画像を生成し、この合成画像を表示部 8 に表示する（s 8）（図 3 参照）。

【 0 0 3 1 】

s 8 にかかる合成画像の生成は、操作部 1 0 において何らかの入力操作がおこなわれるか、または一定時間、例えば 2 ～ 3 秒経過するまで継続される（s 9、s 1 0）。この間に何らかの入力操作が行われると、s 8 で開始した視聴開示時刻となった旨のメッセージの表示を中止し（s 1 1）、今回の入力操作に応じた処理を実行する（s 1 2）。例えば、ユーザが、s 8 で開始された視聴開始時刻になった旨のメッセージの表示により、視聴開始時刻になったことを認識し、視聴予約を行っていたチャンネルへの切替操作を行うと、視聴予約されていたチャンネルへの切り換え処理を実行する。

【 0 0 3 2 】

このように、登録されている視聴予約情報の視聴開始時刻となったときに、ユーザが他のチャンネルで放送されている番組を視聴していると、視聴開始時刻となった旨のメッセージを O S D 画像で表示するようにしたので、視聴開始時刻と

なったことをユーザに確実に認識させることができる。これにより、ユーザは視聴予約を行っていた番組が放送されているチャンネルの切り換えがスムーズに行え、視聴予約を行っていた番組を見逃すことがない。

【0033】

また、この場合、チャンネルの切り換えを自動的に行うのではなく、ユーザの意思により切り換えるようにしているので、ユーザが視聴予約していた番組よりも、現在視聴している番組を継続して視聴することを希望している場合に、突然視聴予約していたチャンネルに切り換え、不快感を感じさせたりすることもない。

【0034】

s 8 で開始された視聴開始時刻になった旨のメッセージの表示は、操作部 10 において何ら入力操作が行われなかった場合、一定時間経過すると中止される（s 13）。このため、ユーザが現在視聴している番組を継続して視聴することを希望している場合に、いつまでも視聴開始時刻になった旨のメッセージが表示されつづけることがなく、ユーザの視聴を妨げるという問題もおきない。

【0035】

テレビ受像機 1 は、s 7 で現在選択されているチャンネルが、今回の視聴開始時刻に対応付けられているチャンネルであると判断すると、OSD 画像表示中止機能（この発明で言う切換指示機能）を有効にする設定であるか、無効にする設定であるかを判定する（s 14）。OSD 画像表示中止機能を有効にするか、無効にするかの設定は、操作部 10 またはリモコン装置で行える。テレビ受像機 1 は、OSD 画像表示中止機能が無効に設定されている場合、表示部 8 において現在表示されている OSD 画像の表示を継続する。反対に、OSD 画像表示中止機能が有効に設定されている場合、表示部 8 において現在表示されている OSD 画像の表示を中止し、視聴予約されていたチャンネルで放送されている番組の映像を表示部 8 に表示する（s 15）。

【0036】

したがって、ユーザは OSD 画像表示中止機能を有効に設定しておけば、登録しておいた視聴予約の視聴開始時刻になったときに、電子番組ガイドや設定メニ

ユー画面等の OSD 画像を表示部 8 に表示させていても、表示部 8 に視聴予約していた番組の映像が自動的に表示されるので、視聴予約していた番組を見逃すことがない。また、本機能が不要なユーザにとっては、OSD 画像表示中止機能を無効に設定しておけばよい。

【0 0 3 7】

これにより、ユーザの操作性を低下させることなく、ユーザが視聴予約を行った番組を確実にユーザに視聴させることができる。

【0 0 3 8】

また、上記実施形態では、s 1 5 で OSD 画像の表示を中止するとしたが、このとき表示部 8 に表示されている OSD 画像を縮小して表示させるようにしてもよい（図 4 参照）。図 4（A）は視聴開始時刻になる直前の表示部 8 における表示画像であり、図 4（A）は視聴開始時刻になった直後の表示部 8 における表示画像である。この場合、ユーザが選択されているチャンネルで放送されている番組の映像を見るのに邪魔にならない大きさに OSD 画像のサイズを縮小するのが好ましい。例えば、表示部 8 の画面サイズの 1 / 3 以下にするのが好ましい。

【0 0 3 9】

また、上記実施形態では、この考案をデジタル放送対応のテレビ受像機に適用して説明したが、アナログ放送対応のテレビ受像機にも適用できる。

【0 0 4 0】

【考案の効果】

以上のように、この考案によれば、視聴予約を行った視聴開始時刻に OSD 画像を表示していた場合であっても、視聴予約していた番組を見逃すことがなく、またユーザにとって必要でないタイミングで OSD 画像の表示が中止されることもない。したがって、ユーザの操作性を低下させることなく、ユーザに視聴予約を行った番組を確実に視聴させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明の実施形態であるテレビ受像機の構成を示すブロック図である。

【図 2】 この発明の実施形態であるテレビ受像機の動作を示すフローチャート

である。

【図 3】 この発明の実施形態であるテレビ受像機の表示部における表示画面例を示す図である。

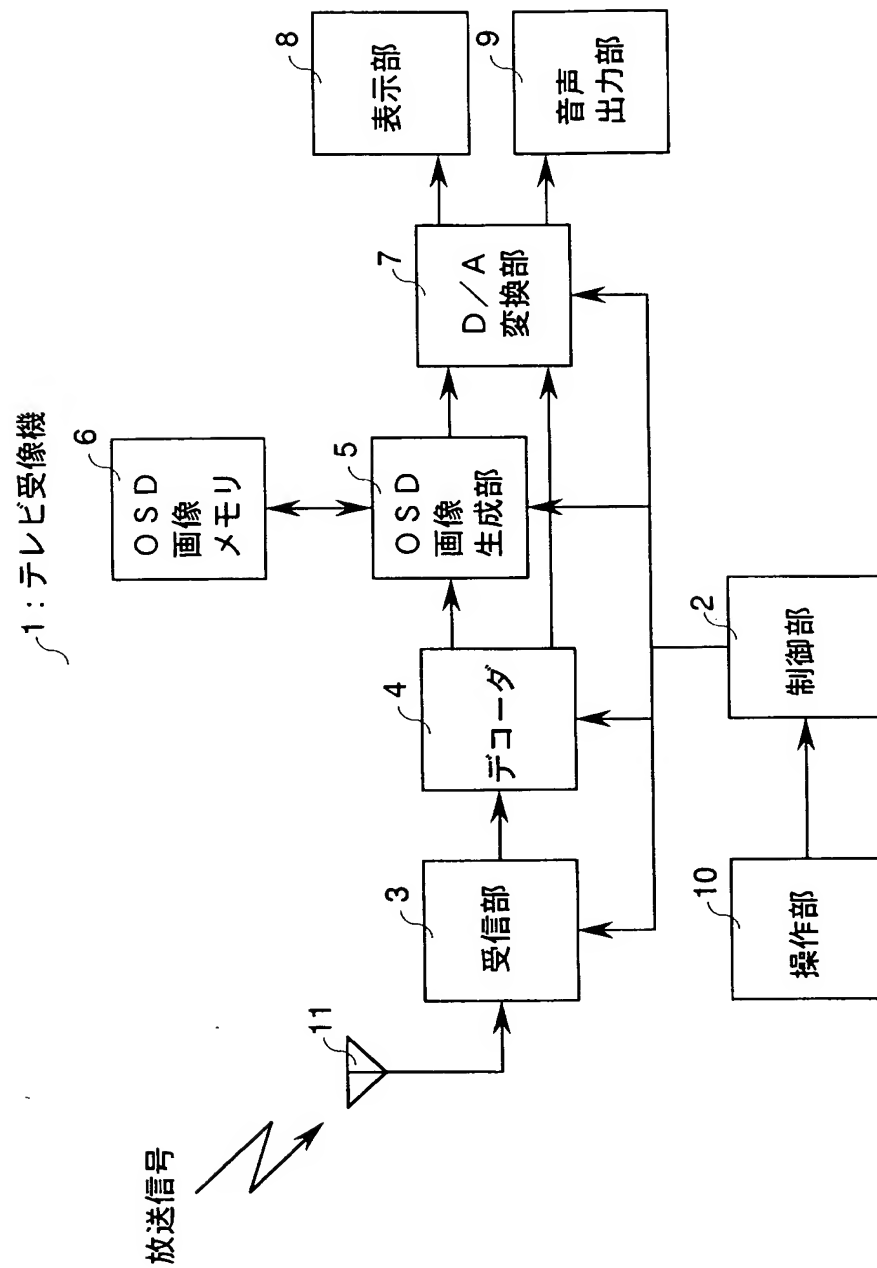
【図 4】 この発明の実施形態であるテレビ受像機の表示部における表示画面例を示す図である。

【符号の説明】

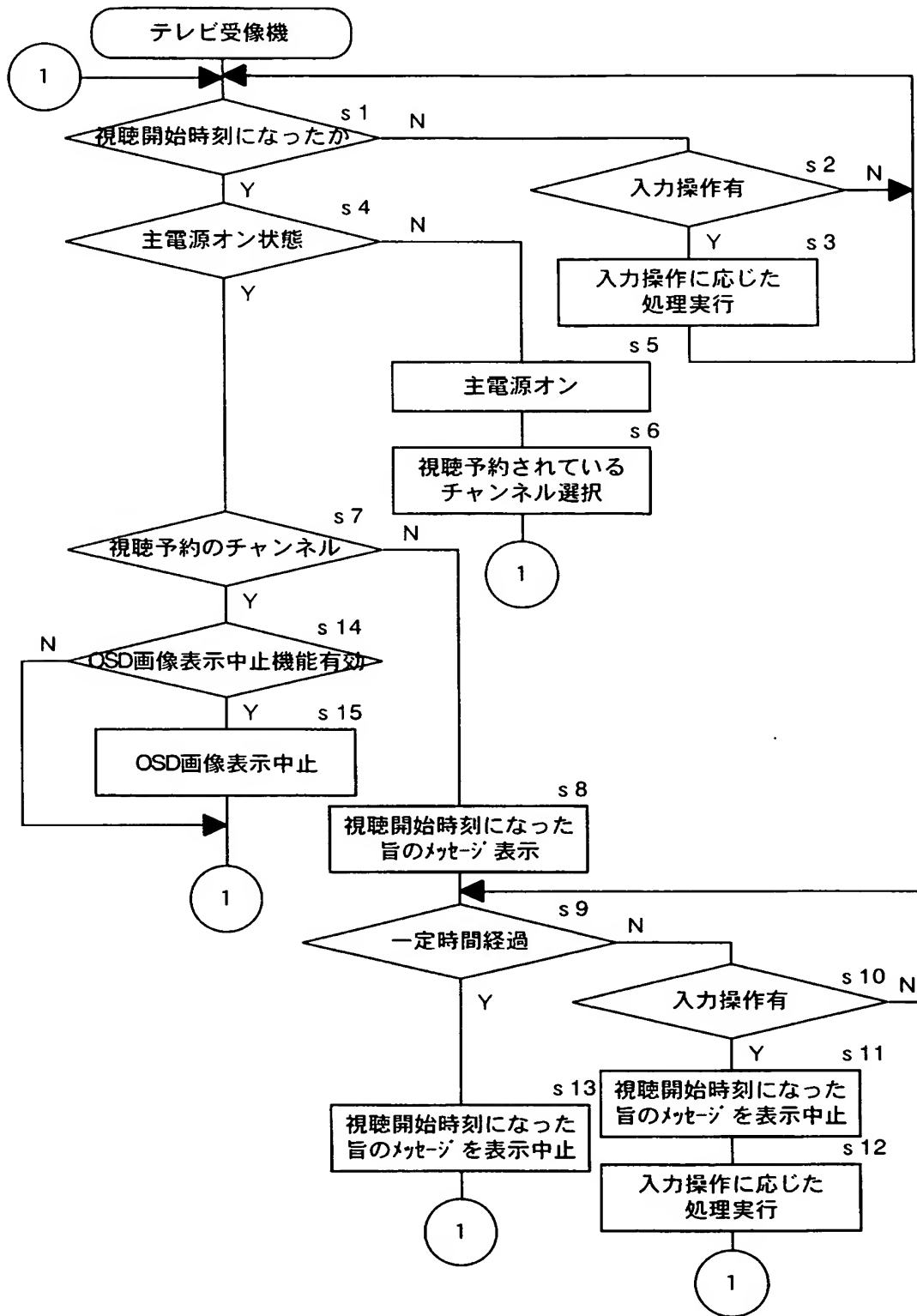
- 1 - テレビ受像機
- 2 - 制御部
- 3 - 受信部
- 4 - デコーダ
- 5 - OSD 画像生成部
- 6 - OSD 画像メモリ
- 7 - D/A 変換部
- 8 - 表示部
- 9 - 音声出力部
- 10 - 操作部

【書類名】 図面

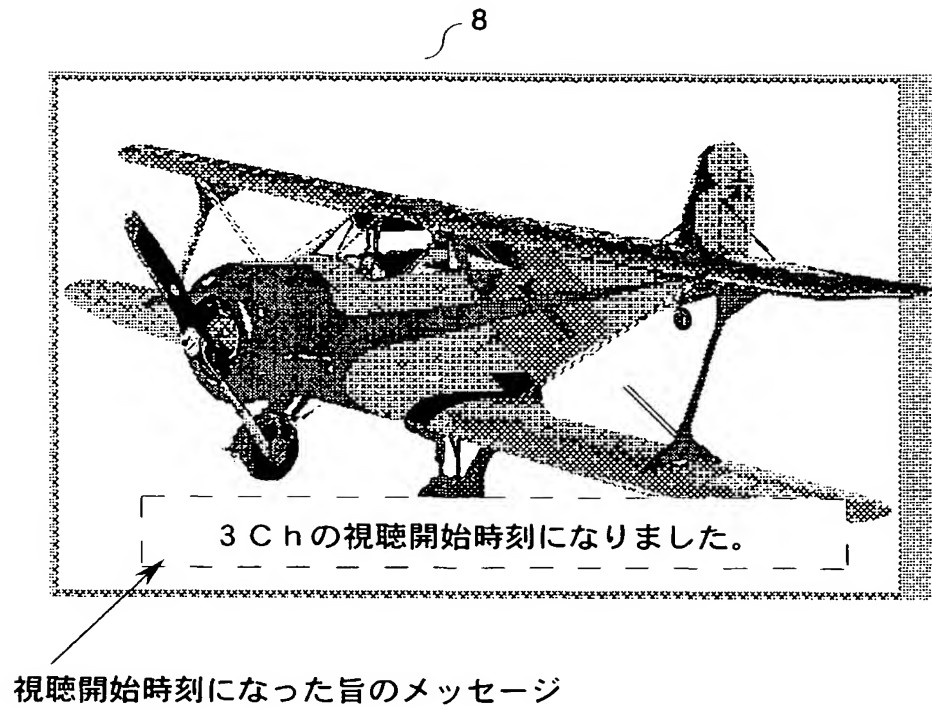
【図 1】



【図2】



【図3】



【図4】

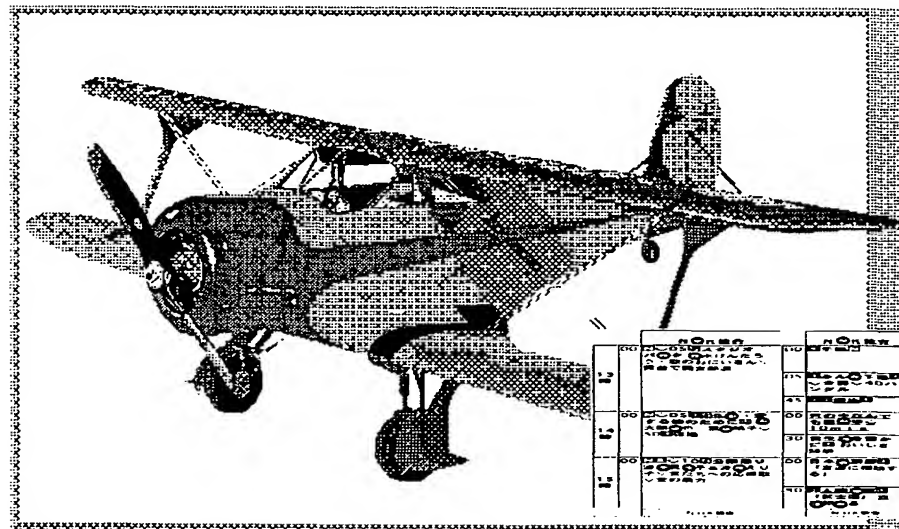
(A)

8

		NHK総合	NHK教育
13時	00	05回スタジオ パ○ク ○水けんたろ う・歌のおにいさん 舞台上で随女熱演	00 5手話N
			05 5みん○手話N ○介○40ハ ンクル
14時	00	05回日生○・愛 する娘のために○ 大路○也 富○靖子 50回体操	45 5回健康N
			00 世の中なんでも 座○笑○ 10m上
15時	00	05回10回公園通り 渡○真○子と渡○えり 子○女たちへの応援歌 ○女の底力	30 食生○を豊か に○おいしさ 科学
			00 日本○講座N 「友達に相談す る」
		NHK総合	NHK教育
			30 5人同○座N 「武士道」 笠 ○和○古

(B)

8



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザの操作性を低下させることなく、ユーザが視聴予約を行った番組を見逃すことがないテレビ受像機を提供する。

【解決手段】 テレビ受像機 1 は、登録されている視聴予約情報の視聴開始時刻になると、このとき選択されているチャンネルが視聴予約されているチャンネルであって、表示部 8 において O S D 画像が表示されている場合、O S D 画像の表示を中止し、視聴予約されているチャンネルで放送されている番組の映像を表示する。したがって、電子番組ガイドや設定メニュー画面を見ていて、視聴予約していた番組の放送開始に気がつかずに、この番組を見逃すのを防止できる。

【選択図】

図 1

認定・付加情報

実用新案登録出願の番号	実願 2 0 0 2 - 0 0 5 7 3 7		
受付番号	5 0 2 0 1 3 5 1 9 5 6		
書類名	実用新案登録願		
担当官	第九担当上席	0 0 9 8	
作成日	平成 1 4 年 9 月 2 7 日		

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成14年 9月10日
-------	-------------

次頁無



実願 2 0 0 2 - 0 0 5 7 3 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 2 0 1 1 1 3]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 9 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府大東市中垣内 7 丁目 7 番 1 号

氏 名

船井電機株式会社